

新規事業評価調書

【県単独土砂災害対策事業】

シリツキ川

県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 高谷和彦 (主幹 (防災担当) 小倉正大)	内線	4459 (4467)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
砂防事業	県単独土砂災害対策事業 シリツキ川	西宮市 なじお 名塩	1.5億円	0.15億円	平成29年度	平成31年度
事業目的			事業内容			
<p>当地区は、土石流発生の危険性が高いことから、土砂災害警戒区域となっており、保全対象は人家22戸、市道がある。そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p>			<p>砂防えん堤工 1基 (高さ 10.0m, 延長 60.0m)</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①シリツキ川は、(一)武庫川水系名塩川に流入する土石流発生の危険性が高い溪流(JR福知山線西宮名塩駅より西へ約1.8km)である。</p> <p>②平成26年8月豪雨により、山腹の崩壊や溪岸の侵食が進み、倒木も多数発生している。</p> <p>③依然、溪床には不安定な土砂が堆積し、多量の土砂が流出する可能性がある。谷出口の県道直下には住宅地があることから、土砂災害の危険性が高い。</p>					
(2) 有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。</p> <p>②地元要望が強く、工事用進入路の確保など、工事に対する地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。</p>					
(3) 環境適合性	①地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。					
(4) 優先性	①保全対象には人家22戸、市道がある。また、溪岸の侵食が進み、流域の荒廃が進行していることから、早期事業着手を図る。					

むこ

にしのみや なじお

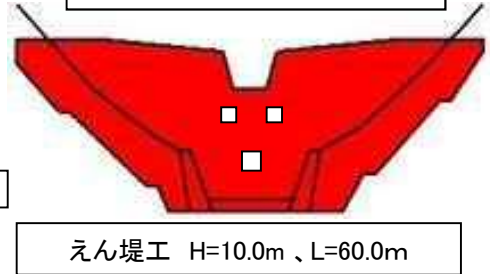
(二)武庫川水系 シリツキ川 県単独土砂災害対策事業 (西宮市名塩3丁目)

○現状の危険性:上流で発生した崩壊により多量の不安定土砂が溪流内に堆積しており、今後の降雨で直下に存在する人家等に被害のおそれがある。

○保全対象:人家22戸、市道

○全体事業費:150百万円(H29~H31)

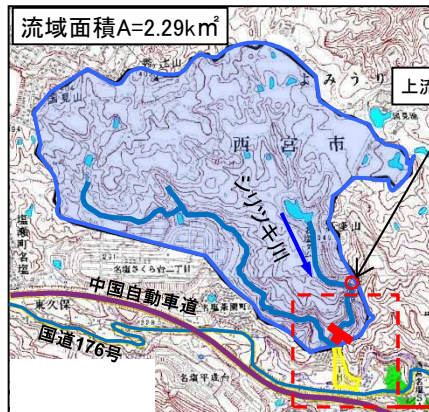
流域面積 A=2.29km²
事業内容(全体)えん堤1基



えん堤工 H=10.0m、L=60.0m

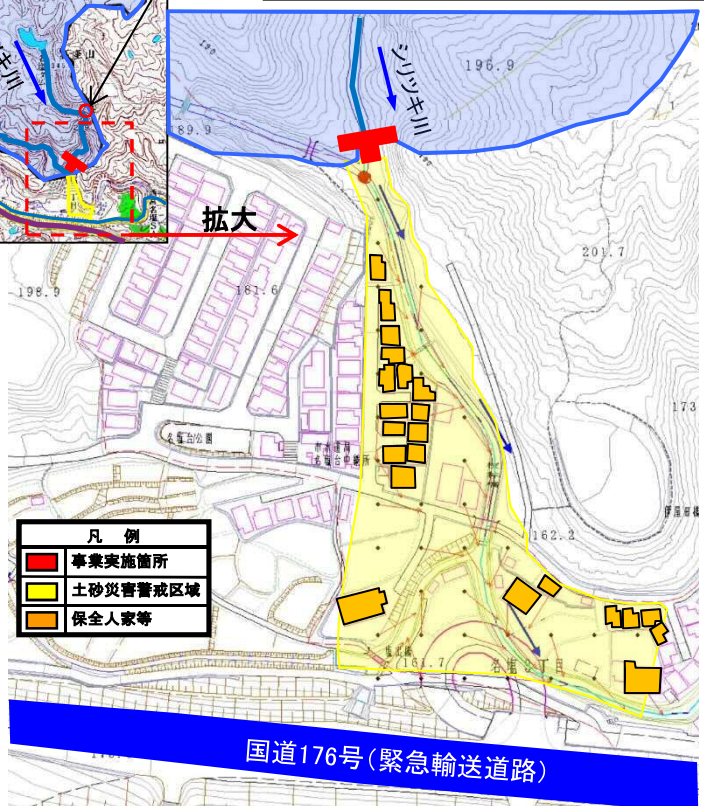


シリツキ川



流域面積A=2.29km²

上流の崩壊地



凡例	
■	事業実施箇所
■	土砂災害警戒区域
■	保全人家等

国道176号(緊急輸送道路)



位置図

シリツキ川

西宮名塩駅



全景



保全対象人家(谷出口より)



溪流荒廃状況



溪流荒廃状況



上流の崩壊地